



藤学園



天使学園

2022年1月28日

学校法人 藤 学園

学校法人 天使学園

学校法人藤学園と学校法人天使学園は法人統合を目指して協議を開始

カトリック精神に基づく教育を建学の理念として共有する、学校法人藤学園（札幌市北区、理事長永田淑子 以下、藤学園）と学校法人天使学園（札幌市東区 理事長松岡健一 以下、天使学園）は、2024年4月の学校法人の統合を目指して法人統合協議会（以下、協議会）を設置し、2022年1月から協議を開始しました。

1 協議会の設置に至る経緯等

今日、カトリック系の学校では修道会が私学教育から撤退傾向にあり、カトリック教育の継承が課題となっているため、ともにカトリック精神を建学の理念とする両学園は、カトリック教育機関としての将来にわたる維持、発展に向けて相談する中で、昨年から両学園の統合について検討を重ねてきました。

両学園は、カトリック教育継承のための基盤強化と将来の少子化等に備え、財務状況が比較的健全なうちに法人統合することを目指して、本年1月19日に協議会設置の覚書を締結し法人統合の基本的な事項について合意したため、1月26日に「第1回法人統合協議会」を開催し、法人統合の協議を開始いたしました。

2 法人統合に向けた基本的合意事項

- (1) 法人統合の期日は、2024年4月1日とすること
- (2) 法人統合後の法人名称は、「藤」と「天使」の名称を含むことを基本として検討すること
- (3) 法人統合後も両学校法人の設置校である天使大学、藤女子大学等の各学校はそのままの名称で存続すること
- (4) 法人統合後の役員構成は、両法人の設置校を考慮し対等性が尊重されるよう検討すること
- (5) 法人統合の手続きは、私立学校法等の関連法令により学校法人藤学園を存続法人とした新名称法人として文部科学大臣へ認可申請すること

3 今後の進め方

藤学園と天使学園は、双方の歴史と大学等の各設置校の運営を尊重し、特に学生・生徒が最大の受益者であることを十分考慮して、2024年4月1日の法人統合を目指して理事者等で構成する協議会及び部会において、対等の精神で協議を行ってまいります。

4 藤学園と天使学園の来歴と統合の意義

藤学園は、カトリック札幌教区初代教区長ヴェンセスラウス・キノルド司教が、北海道の発展のためには、とりわけ、女子教育が最も重要であると考え、母国ドイツに女子教育の真の担い手になる人材の派遣を要請し、これに応じて「殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ修道会」から3人の修道女が来道したことに由来します。1925年に札幌藤高等女学校を開設し、その後、幼稚園、高等学校、大学等を相次いで開設いたしました。現在、幼稚園5園、中学校1校、高等学校1校、大学1校の8校を設置しています。

天使学園のルーツは、1908年、「マリアの宣教者フランシスコ修道会（FMM）」から7名の修道女が札幌に派遣され、開拓民のために施療所（現在の天使病院）を開設したことにあります。その後、FMMが1947年に天使大学の前身である札幌天使女子厚生専門学校を設立して以来、今日まで「愛をとおして真理へ」の建学の理念に基づいて看護師、管理栄養士、助産師及び保健師の専門職業人を育成し、1997年に天使学園が修道会からその経営を引き継ぎ今日まで発展してきました。

このように、両学園のルーツは、藤学園は殉教者聖ゲオルギオのフランシスコ会、天使学園はマリアの宣教者フランシスコ修道会であり、奇しくも聖フランシスコの愛の教えを等しくルーツに持つ両学園が百年の時を経て統合することは、まさに摂理的なことであり、また、文理融合、全人教育への社会の要請にも応えることになるものと考えています。

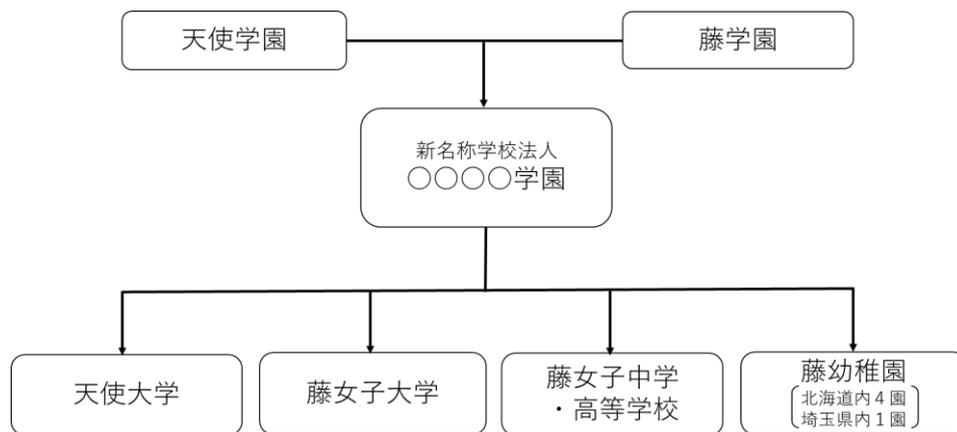
5 藤学園及び天使学園に関する基本情報

双方のWebサイトをご参照願います。

○藤 学園 <https://www.fujijoshi.ac.jp/hojin/>

○天使学園 <https://www.tenshi.ac.jp/>

6 法人統合のイメージ



本件についての問い合わせ先

○藤 学園 法人事務局長： 井上 泰則 TEL： 011-736-5700（代）

○天使学園 天使大学事務局長：岩間 久哉 TEL： 011-741-1051（代）